



## 政友会 水谷 進 議員

- ①神戸中学校建設の進捗と開校見通し
- ②学校経営の改革方針の公表について
- ③学校評価と公表について

**質問①** 神戸中学校の建設について、現在の進捗状況と、平成22年度春の開校に間に合うのか。

**答弁①** 皆様には大変ご心配をお掛けし申し訳ない。多くの方々より戴いた意見の取りまとめに大変時間が掛かり、基本設計が当初より4ヶ月遅れ、1月より実施設計と埋蔵文化財の調査を行っている。校舎と体育館の完成は予定通りであるが、工事の進み方によって開校は2学期からの可能性もある。

**質問②** 全ての学校での「学校経営の改革方針」等

をホームページで公表する事を言い続けてきたが、その後どうなっているのか。

**答弁②** ホームページには、各学校が教育目標から緊急時の対応等まで様々な情報を工夫して掲載している。今後も様々な形で学校の状況を地域や保護者に提供していくことが大切であると考えている。

**質問③** 平成19年10月に「学校教育法施行規則の一部改正」が行われ、「学校評価と公表」が義務づけられたがどのように取り組むのか。また、20年度の教育方針への反映はどうか。

**答弁③** 来年度から、自己評価の公表に取り組むよう指導していきたい。教育方針には学校経営品質や学校関係者評価の推進を位置づけている。



## すずか倶楽部 中西 大輔 議員

- ①鈴鹿市の救急医療体制について

**質問①** 中央病院夜間小児救急体制の変更について。

**答弁①** 市は非常に危機的であると認識している。周知が遅くなったのは、中央、回生病院との細部にわたる調整、確認が必要で、それらがまとまったのが2月末であるため。市民への情報提供、啓発はあらゆる機会をとらえ随時行っていく。

**質問②** 体制変更後に救急搬送はあったか。三重病院までの搬送時間などについて。

**答弁②** 該当の搬送はあった。津市寄り地域は、国道

23号などを使用し約20分、西部四日市寄り地域は、東名阪や国道23号を使用し約40分以上。救急は様々な状況を見極め最善の経路で搬送する。

**質問③** 救急医療体制全体を見た視点から5項目。

**答弁③**(1) 応急診療所の受診者が増加する可能性はある。(2) 医師会との連携は応急診療所運営委員会や、二次救急医療調整会議などでとっている。(3) 市民への救急啓発について、応急診療所の適正利用、子どもの救急時対応など、ひっ迫している救急医療への理解を求める形で行う。(4) 近隣市とは引き続き話し合いの場を持ち、県とも連携する。(5) 執行部、消防、教育それぞれ同じ認識を持ち、鈴鹿の救急体制作りを進めていきたいと考えている。



## あくていぐ21 矢野 仁志 議員

- ①建築基準法改正後の本市の現状
- ②鈴鹿市の今後に関して
- ③杉の子養護への施設の拡充と拡大

**質問①** 建築基準法の改正で※コンプライアンス不況に陥ってしまわないか。運用基準、審査はどうなっているのか。

**答弁①** 厳格な建築確認審査を求められており、運用基準や審査等も厳しくなってくるが、コンプライアンス不況に陥らぬよう専門職員の配置、課内の協力体制の強化により効率的な事務処理を行いたい。

**質問②** 成人式に20万都市として適切な予算措置を行うべきでは。今後も鈴鹿サーキットで開催す

るのか。情報公開について、議会への情報提供が遅いのでは。例えば「FM」や「レジ袋」有料化等の件。

**答弁②** 必要最小限の経費で、最大の効果を目指している。改修で来年度の成人式の会場使用は困難。実行委員会の意向も尊重し会場を決定したい。情報公開については早期に情報を共有し、議論したい。

**質問③** 杉の子特別支援学校の施設等の改善、整備は。また給食の対応は。

**答弁③** 知的障がい教育部門の設置で8教室改修を行い40名程の児童生徒を受け入れ、スクールバスを導入する。今後、高等部の分離設置等も含め生徒の増加に対応した設備や環境の充実に努める。H20年度より給食は石薬師小学校施設を使用して提供する。